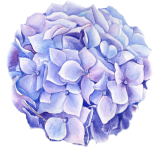



～ 多様な個性・価値観・ライフスタイルを尊重しあい、  
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、  
誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスに～

## Contents

- ◎ お知らせ 利用しやすいトイレに / 兼業中の育児休業
- ◎ 活動報告 カフェトーク「ゆるやかな時間のなかで…」
- ◎ お知らせ 6月はプライド月間 / 男女共同参画週間
- ◎ シリーズ お父さんの育児休業 インタビュー
- ◎ 活動報告 『研究支援員制度』利用者決定 / 大学入門ゼミ配信中
- ◎ FD/SD研修 「持続可能なキャリア」「介護と仕事（学び）の両立」



## お知らせ 利用しやすいトイレに

鳥大のユニバーサルデザインマップ  をご存じでしょうか。エレベーター等のバリアフリー情報や、性別を問わず利用できるオールジェンダートイレ、着替えができるフィッティングボード、車いすの方の駐車スペースなどがホームページに掲載されています。

今年度はこのマップ更新や、多機能トイレを誰もが利用しやすくするため、可能な改善を検討中です。

安心して過ごせるキャンパス環境について、トイレなど気づいたことや提案など、推進室にお寄せください。



## 兼業中の育児休業

大学には、「兼業」という形で学外で専門性を発揮したり、地域に貢献している教職員がいます。この「兼業」を理由に育休取得を断念する人がいるのではと推進委員会で話題となり、令和8年5月、兼業中も育児休業が出来ることについて学長から通知がなされました。

育児などのライフイベントを大切にしながらキャリアを継続し、両立ができる働き方や、誰が休んでもカバーしあえる体制づくりについて、職場の体制を調整する機会にもなりそうです。

## 活動報告

### カフェトーク 「ゆるやかな時間のなかで…」

5月26日、米子地区の着任1～2年目の教職員交流会「ゆるやかな時間のなかでつながるひととき」を開催しました。これは、所属を超えたつながりを促進し、大学と生活の両立、過ごしやすい・風通しの良いキャンパスづくりのため推進室員による初開催で、今回は三好陽子教授と岩井康博副課長が運営。



参加者からは、「普段出会わない方、出会っていてもゆっくり話せない方と話せて良かった」「大学や病院が少し身近になった」「緊張して働いていたが、


ほっとする時間となった」などの感想があり、良い波紋が広がりそうです。


鳥取キャンパスでは、7月2日（木）16:00～Tottori uniQにて開催を計画中です。職員メールでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



## お知らせ

### 6月はプライド月間・男女共同参画週間

6月は「プライド月間」として、世界各地でLGBTQ+をはじめ、あらゆる人を尊重し多様性を祝うイベントが開かれます。これらは1969年6月、ニューヨークで性的マイノリティの人々が差別に立ち向かった出来事由来し、人権や平等、公正の実現のために私たちに何が出来るか考える機会となり、日本でも自治体や企業等が様々な行動を行っています。鳥大は「性の多様性に関する基本理念」  を公表し、附属図書館では『プライド月間展示』、学内で関連イベントも計画されているようです。本学の理念 1. 性の多様性を尊重し差別しない 2. 自己決定の尊重 3. 修学・就労の妨げを取り除くこと について、この機会に考えてみませんか。

そして、6月23日～29日は内閣府が定めている男女共同参画週間です。令和8年度のキャッチフレーズは、「あなたらしさが、社会のチカラ」。本学風に言えば、『あなたらしさが、鳥大のチカラ』。学び働きやすい職場となるよう、本学の課題や行動計画  も意識してみましょう。





育児休業取得から4年、美藤先生に当時とその後についてお尋ねしました。

**Q 休業などの期間** 2021年12月～2022年3月 (約3か月)

**Q 休業準備、周囲の反応** 第2子が3つ子とわかり、周囲の先生は非常に温かく背中を押していただきました。担当講義の時期調整やオンデマンド教材化、指導学生の研究計画の前倒しなど、信頼関係を構築しながら環境を整えました。

**Q 想像以上に大変だったことや一番の試練** 妻と協力して4人の乳幼児に24時間向きあっても「泣き声の三重奏」をあやす手は足りず、上の子の赤ちゃん返りの追加に絶望を感じた時期もありました。

**Q 育休を考えている人や、周囲の方々へ** 大学教員という職業柄、自分が抜ける穴への不安は尽きないと思います。しかし、研究や教育は代替や後からの挽回が効きますが、子供の乳児期は「その時」しかありません。ぜひ周囲を信頼して、一步を踏み出してください。

**Q 数年が経過した今、改めて振り返って**

育休は単なる休業ではなく、自らの「タイムパフォーマンス」を高めるキャリアの転換点であったり、組織の業務効率化 (マニュアル化など) をもたらす「イノベーション」のきっかけではないだろうかと感じています。分刻みの育休育児で培った効率的思考、不測の事態に動じない精神は、現在の研究や学務に深く生きています。

また、一定期間 (長期間) の育休を取得したと「線 (期間)」で捉えがちですが、この先長い子育て・キャリア期間においては、その長期の育休期間であっても「点」でしかありません。最も大切なのは、この「点」を始点・起点として、得られた経験がその後の家族の関係性や自身のキャリアにどう恩恵をもたらし、どのような人生の「線」を引き続けることができるのか、を考え行動してみることで感じます。

最後に、壮絶なリアルを100%共有したことで生まれたパートナーとの「戦友」のような絆は、今も私を支える一生の財産です。現在、共働き世帯が増加しており、終身雇用制度や年功序列制度の崩壊に伴い、子育てママのキャリアパスにも注目が集まっています。一層の女性活躍社会の実現に、また、戦友のキャリアプランの底支えになれるように、育休で得た育児・家事スキルをこの先も大切にしていこうと思っています。

(家事育児のお助け情報を沢山いただいています。ご本人や推進室にもお尋ねください♪)

## 活動報告 『研究支援員制度』利用者決定

育児や介護等と研究との両立を支援する研究支援員制度に、令和8年度は工学部・農学部・医学部の研究者から申請があり、12名の利用が決定しました。

## 「大学入門ゼミ」配信中

新一年生必修のダイバーシティ入門ゼミがスタート。DEIB (多様性、公平性、包摂性、所属意識) や無意識の思い込み、合理的配慮、性の多様性や性的同意、学内の相談先などを盛り込んでいます。

構成は前半に深田美香室長と室員の井上菜穂准教授、千酌潤准教授 (保健管理センター)、推進室コーディネータと学生からのメッセージ、後半は熊埜御堂朋子理事による講演とし、本学技術部による連携編集です。

## FD/SD研修 (予告)

ご予約ください♪

テーマ (キャリア形成)

これからの次世代が求める「持続可能なキャリア」

～選ばれる大学・輝く教職員・育つ次世代～

日時 7月17日 (金) 13:15～14:30 (Zoom)

講師 宮崎 結花 さん

(1級キャリアコンサルティング技能士)

テーマ (ライフイベント支援)

介護と仕事 (学び) の両立セミナー

日時 8月20日 (木) 13:15～14:45

講演・対話セッション

場所 Tottori uniQ

講師 渡部 一恵 さん

(鳥取県介護等支援コーディネーター)



推進室は時計台のある  
地域学部棟 4Fです



体調不良時の休憩、  
相談 (要予約) ご利用ください

〒680-8540 鳥取市湖山町南4丁目101

☎ 0857-31-5769 (内線2166)

✉ diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

🌐 www.tottori-u.ac.jp/diversity/



Tottori University Office for Campus Diversity  
鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室

